

■ 集落地理学の開拓者

小田内 通敏

おだうち みちとし

出身地 秋田市

1875年（明治8年）～1954年（昭和29年）

集落地理学など人文地理研究の開拓者。郷土教育

連盟の創設に参加。郷土の地理学的研究、郷土研

究に基づく教育に尽力。全国の師範学校に郷土研

究を提言、『総合郷土研究』の刊行を指導する。



年譜

- 1875年 秋田市に生まれる。旧姓・田所、幼名・三治。
- 1899年 高等師範学校卒業。私立早稲田中学校教員。
- 1914年 早稲田大学講師に招かれ地理学を講義。
- 1918年 『帝都と近郊』を刊行。
- 1925年 慶応義塾大学講師に招かれ地理学を講義。
- 1927年 『聚落と地理』を刊行。
- 1930年 文部省教育制度調査を囑託。
郷土教育連盟の創設、雑誌『郷土』の創刊に参加。
- 1939年 指導して『総合郷土研究 秋田県』を刊行。
- 1954年 東京都で没。79歳。